

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宗像陸運雑多の津倉庫新築	階数	地上5F
建設地	福岡市東区多の津1丁目16-2,17	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年4月1日
敷地面積	6,307 m ²	作成者	湯下
建築面積	3,827 m ²	確認日	2017年4月5日
延床面積	14,412 m ²	確認者	湯下



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み: 73% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の: 73%</p> <p>④上記+: 73%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし		その他 特になし
<p>Q1 室内環境</p> <p>空気質環境にて、化学汚染物質による空気質汚染回避(建築しよう材料を告示対象外、F☆☆☆☆、VOC放散量が少ない建材を使用)</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>機能性、使いやすさを重視(執務スペース(空間)の確保)</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率機器等の採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>資源・環境の重視(節水型の機器を使用)</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>交通負荷抑制重視(駐車場・駐輪場の確保)</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される